

## ★なぜ、こえん堂の店主が

### 「プログリーン」をおススメするのか？

科学的な研究で証明されている「本物の青汁」



◆「青汁」と聞くと、「昔からある不味いジュースね」「安いのを毎日飲んでるよ」「昔は飲んでたけど、もうやめちゃったよ」など、良くも悪くもないけど飲んでいけば何となく健康に良さそうだから飲んでる、もしくは飲んでいての方が多いのではないのでしょうか？

◆でもね、この「青汁」、唯ものじやあないんですよ。もちろん、本当に身体に良い「青汁」である為には多くの厳しい条件をクリアする必要があるんです。

◆まず、原料としては大麦若葉、ケール、明日葉など様々なものが使われていますが、多くの研究結果から「大麦若葉」が最も良いでしょう。「大麦若葉」には抗酸化作用、抗腫瘍作用、抗変異原効果、抗コレステロール効果、農薬分解効果などが知られています。しかも、他の野菜や果物と比較して、「大麦若葉」には高い活性効果がありません。

◆カリフォルニア大学環境毒性学部の柴本教授の研究結果によると、「大麦若葉」には各種野菜や果物に比べて、D-カロテン、ビタミンB・Cの含有率が高いほか、「強抗酸化剤」であるフラボノイドの一種「サポニン」「ルトナリン」(いずれも柴本教授が発見)が含まれているとのこと。

◆では、なぜ抗酸化作用の強い物質が重要なのでしょうか？人間が最初に受ける活性酸素による酸化傷害は「老化」です。例えば、皮フが紫外線を受けると顔や体にシミやシワがでますよね。だから、その酸化による傷害を防ぐには、抗酸化作用のある物質が必要なのです。



## ★「えっ、ヒツジがやせた？」 チベット原産のハーブティーでカラダスッキリ！

◆この時期、とても多い相談の一つが「何とか痩せたい」「カラダが重い」「むくみが酷い」など。そして、「その為にもっとも簡単に飲めるお茶ありませんか？」という方が急増します。

◆本格的なダイエットは出来ないけど、気軽に何かを始めたいという方には「三爽茶(さんそうちや)」をおススメしています。この中には、チベットで家畜のヒツジが痩せてしまい、原因を探ったら食べていたという「柳茶(りゅうちや)」「をメインに、カラダの水分の巡りを改善する「スギナ」、「気」の流れを改善してココロをリラックスさせてくれる「シベリア人参」などがバランス良く配合されています。

◆普段のお茶替わりに1日3回、1回1〜2包をお湯に溶かして飲んでいただくとうれしいですよ。

◆ただし、「三爽茶」を飲んでいても食生活には十分気を付けてください。ね。「三爽茶」を飲んでからと安心して普段より沢山食べてしまっている方がたまにいますよ！「注意」してくださいね。

◆夏が来る前にしっかりと身体の準備を！



羊もビックリ！  
「三爽茶」でスッキリ！

## ～こえん堂店主のひとり言～

◆先日、参加した「不妊症」についての漢方勉強会。やはり大切なのは、いかにストレスを少なくするかという事でした。ストレスによりホルモンのバランスがすぐに崩れてしまうんですね。また、30歳過ぎたら「補腎(ほじん)」は不可欠のようです。「補腎」とはできるだけ老化を遅らせる、そして、今の身体をもっと若々しくする方法です。「補腎薬」は色々ありますので、体質や症状などに合わせて選択することが大切です。もうひとつ「血流」を良くする事もとても大事。もちろん、これらは一朝一夕には改善しません。毎日コツコツ続けることが、結局は近道なのです。日々の運動、食生活、睡眠などトータルで体を労わって下さいね！

◆漢方相談は、「ご予約」していただいた方を優先しています。これは、できる限り来店される方をお待たせしないようにするためです。お手数ですが、ご協力の程宜しく願いいたします。

◆当店で一度ご相談された方に漢方薬・健康食品などの垂送も承っています。代金は銀行振り込み(当店指定銀行)でお願いしています。総額1万円以上で送料は「無料」です。お忙しい方、遠方の方などお気軽にどうぞ！

一般的に市販の野菜ジュースは糖分がたっぷりなのでご注意ください！  
「野菜ジュース10杯より、プログリーン1杯」ですわ〜♪



◆また、「大麦若葉」に含まれるサポニンには、血液に対する抗酸化作用についても他の抗酸化物質に比べて大きな力を発揮するのです。スゴイですね！

◆ここでもう一つ大事なポイントがあります。それは収穫する時期です。成長時期によって抗酸化物質の含有量が大きく異なるのです。発芽して10〜20日の間が最も多いのです。あなたの青汁の収穫時期は？

◆特記すべき研究結果がまだあります。それは、「大麦若葉」には残留農薬の分解・除去作用があることです。例えば、マラチオンなどの農薬を対象とした実験では、3%溶液では100%分解したという結果も出ています。更に、80度に加熱して活性を調べたところ、残留農薬の減少は見られませんでした。

◆ということから、「大麦若葉」が持つ独自の酵素が残留農薬を分解するということが判明しました。酵素は熱に弱いので「大麦若葉」から作られる青汁では、加熱しないで製品を作ることがとても大事なんです。残念ながら、国内で販売されているほとんどの「大麦若葉」の青汁は加熱処理されているのです。その方が簡単にコストがかからないのです。

◆どんな物でも「ただ安ければ良い」という時代は終わりました。優先されるべきことは「いつまでも健康である事」ではないでしょうか？そのためには、活性酸素や農薬などから身を守り、様々な病気や老化を抑えながら生きていく知恵を身につけていただきたいと思えます。我々生き物は、普段食べている物から身体が作られます。だからこそ、安全・安心・効果的な食材を常に意識することが大切です。これらの厳しい条件を全てクリアした大麦若葉エキス「プログリーン」が皆さんの健康維持のお役にたてれば幸いです！